

ヘブライ語で『春の丘』の意味を持つイスラエルの首都テルアビブは、今でも政治・経済・文化の中心地ですが、この地に人々が住み始めたのは意外にも新しく、今世紀初頭1909年のことである。

地中海に面するヤッフォの北、荒れた岩と砂丘の大地に、永遠とも思われる長い歴史に翻弄された、そして平穏な生活を夢見た60家族のユダヤの人々がヨーロッパから移住した日から、この町の歴史は始まりました。

人植した人々は自分たちの町を造る喜びに溢れ、そして夢と希望を持つ多くの同胞を迎え入れたのです。やがてこの新しい町は建国の父、テオドール・ヘルツェルの小説を由来とする『春の丘』テルアビブと名付けられ、市民が共有する『The city that never stops.』の合言葉のもと、活気ある近代商業都市へと変貌してきたのです。

この街に生活するポーランド移民の子、A.BAHRY (A.バーリー)は大変腕のいいロックスマスと評判でしたが、錠前の鍵開けや交換の平凡な毎日を送っていました。…ある邸宅に呼ばれるまでは…。

この邸宅の主人の依頼は、自宅の玄関扉を『上下左右4ヵ所ロック出来るようにして欲しい』というものでした。いくらテルアビブの街が多少治安が悪いとはいえ、今までにこの様な依頼などバーリーは聞いたことは有りません。

錠前問屋に聞いてもそんな物は無い。では上下左右4ヵ所に錠前を付けようか？。いや、それではお客様が面倒がるだろう。

ひとつの鍵穴を回すことにより4ヵ所ロックは出来ないだろうか？。この疑問が4ウェイロックの発明に繋がり、バーリーは1973年マルチにデッドボルトが出るこの錠前のシステムを社名に冠した、マルチロックテクノロジー社を誕生させたのでした。

数年後、安全を追求する彼のロックスマスの精神は、ピッキングに強力に抵抗するシリンダーの開発に向けられました。そしてダブルディンプルシリンダーを開発、さらにタンブラーとキーが相互に作用するインタラクティブシステムを完成させたマルチロックテクノロジー社は、世界に安全性を認められたハイセキュリティシリンダーメーカーとして今日に至り、皆様に安心をお届けしているのです。

『Never stops』=マルチロックテクノロジー社は、創業以来のこの精神をいつまでも持ち続けたいと考えております。



**MUL-T-LOCK®**